

第5回検討委員会 委員プレゼン(要約・未定稿)

- ・なかなか区長会で集まる機会もない(センターのことも集約できていない)。個人の意見になるが…
 - ・メインは図書館。若い年代は電子図書、画面で読むことが増えている。
 - ・自分自身は、最近改めて本を読む時間が増えた。本が充実してくれたら嬉しい。
 - ・現在の仕事は児童館。子ども達に有意義な提案をして欲しい。
 - ・専任の職員で情報発信するような取り組みが欲しい。
-
- ・福祉協会も話し合う場がなく、個人的な意見になるが…
 - ・現状なかなかコロナで集まることもできないが、センターができれば、そこを利用して集まる機会を持ちたい。
 - ・センターの中で、ゲーム等で触れ合える場所も検討して欲しい。
 - ・自販機食堂なども考えて欲しい。
 - ・舞台設置で、総会等ができるように。個人的にはカラオケなどできるような施設も欲しい。
-
- ・中プラザ敷地で、新しい商工会館の建設を進めている(3年前から建設特別委員会)。
 - ・新商工会館のコンセプト
 - 1)ユニティ：団結・結束
 - 2)パワースポット：商工会へ行ったら元気になれる
 - 3)シンプル&チャレンジ：商工会の機能に特化した施設・新しい事業へ十分な施設
 - ・8月に設計プロポーザルの審査会、現在基本設計を進めている。
 - ・商工会としてセンターへの要望：民の力を利用して欲しい。
例えばカフェや本屋、事業者と共存できるような配慮を。
新規事業を希望している人を利用して、講座の運営をするなど考えて欲しい。
 - ・私見として：町の規模にあった建物。建てる時は良いが、修繕・補修費用なども重要。
コンパクトで高機能な施設。
 - ・ベルディーホール：芸術・音楽に特化した施設を目指した。結果良かったと思っている。
図書館も一点集中を目指してはどうか。
 - ・将来的には、ドローン活用などで、県内の図書館からネットで本が取り寄せできるような時代が来るだろう。
 - ・建設候補地：周辺には緑も多い、その辺りを取り込んだような施設。日赤、スポーツ施設、学生もよく通る、老若男女が集えるような施設づくりを目指して欲しい。
 - ・コンセプト：交流・学び・癒やし、と考えている。
-
- ・7/30 多可高ワークショップ：センターの計画に参画、多可町の将来像を考える一翼を担うことができた。
 - ・生徒が多可町の未来づくりに関わられた：貴重な体験であり、大きな自信になった。(生徒からも、教員からも)
 - ・一方で問題と感じられた：話のスケールが大き過ぎて、高校生にどのような役割が求められているのかが、わかりにくかった。現状報告・道筋・目処・制約・望ましいことなど、極力明確

に提示することが大切であった。

- ・総じて上手くいったと思うが、今後の道筋を大人が示すことが肝要。
- ・生涯スポーツ振興委員会・若い(子育て)世代・小学生を持つ世代の意見を聞いた。
- ・7年前の検討にも関わった。元々、図書館をつくる話から始まり、生涯学習センターの話が横から入ってきた。
- ・各地の図書館に行ったが、確かに立派な設備があったが、施設も維持費も高額な施設もあった。
- ・多可町の情勢を考えると「箱物はいらん」と若い人は言うが、自分は「いる」と思っている。なぜなら、皆が集う場所があるから。だから、センターの中の図書館の位置付けでいい。
- ・小中学校の図書を充実させて欲しい、と常々学校関係者に言っている。小中学生に特化したような取り組み。若い人は他市の図書館へ行っているが、行けない人が使えるような図書館にして欲しい。
- ・取り寄せサービスも活用。変わった図書館にするのも、多可町の良さに繋がる。
- ・「子育て」というなら他所と同じでは駄目、何かに特化したものを。若い人の発想で取り組むと、違いが出ると思う。
- ・他市の図書館へ行ける人は行けば良いが、行けない人のための図書館が必要。
- ・スポーツ団体を集会をしようとしても場所がない。団体としては、気軽に使える場所にして欲しい。
- ・今の時代、お茶を飲みながら話をする、本を読む、そんなくつろげる場所を作って欲しい。喫茶コーナーでなくても、自分でお茶を入れて飲むのも良い。
- ・新しい図書館の感覚で考えて、皆が利用できる施設を目指して欲しい。